

Intelligent Mold Reject

損失を最小限に抑え、生産量の最大化を図る



ガラス容器の製造では、高い基準と収益性を維持するために、生産効率と品質管理が重要です。「インテリジェント モールドリジェクト」システムは、不適切な損失を制限することで生産量を最適化するように設計されたソリューションです。

スマートテクノロジーが優れた品質を実現

今日のテクノロジーの力をスマートに活用し、製造されたすべての容器にホットエンドで固有の識別子が付けられます。このマーキングには、「インテリジェント モールドリジェクト」機能を有効にするために必要な重要な情報が埋め込まれています。



廃棄物を減らし、資源を節約する

容器の損失は、最終利益に影響します。「インテリジェント モールドリジェクト」を使用すると、特定のキャビティ番号から来たという理由だけで製品を工場が拒否することはなくなります。イベントのタイミングを知ることは、生産ラインからどの製品を取り除く必要があるかを決定する上で重要な役割を果たします。品質イベントの指定された時間枠を識別して分析することで、販売可能なすべての容器を出荷できるようになり、利益に繋がります。



ターゲット品質管理

生産環境では品質の問題が発生しますが、その対処方法によって状況は大きく変わります。「インテリジェント モールドリジェクト」では、コードに埋め込まれたデータによって、品質イベント中に影響を受ける容器が正確に特定されます。これにより、リジェクト指示または再選択が可能になり、イベント中に製造された容器のみが除去されるため、損失が大幅に削減され、出力効率が向上します。



未来への投資

「インテリジェント モールドリジェクト」が導入される前は、品質問題に対処するには、問題のある金型で製造された容器をすべて排除する必要がありました。これはコストがかかり、非効率的なプロセスで、いくつかの制約と欠点がありました。弊社のシステムは、工場がモールドリジェクトと製品再選択プロセスを管理する方法を変えています。その結果、廃棄物が大幅に削減され、運用効率が向上します。

インテリジェント金型リジェクト 必須ハードウェア

Bucher Emhart Glass の「インテリジェント モールド リジェクト」機能を利用するには、生産ラインにいくつかのいくつかのコンポーネントをインストールする必要があります。ホットエンドでは、ID MARK を使用して、熱い容器が Lehr に入る前にマトリックス コードを印刷します。コールドエンドでは、機械にインストールされた ID READ デバイスがコードを解読し、特定の製品の選択または拒否が必要なときにその情報を使用します。

ホットエンド

ID Mark

成形直後に、CO2 レーザーを使用して各容器に固有の ID コードを刻印します。このとき、ガラスを損傷しないように、高速で正確な熱彫刻プロセスが使用されます。



コールドエンド



メカニカルマシン: ID読み取り装置を搭載 したFlexinspect Mまた はFlexinspect T

ID READ は、検査結果とコード内に埋め込まれた容器 ID 番号との完全な相関関係を提供します。他のプロセス センサーから得られる情報を利用して、品質結果を成形プロセス条件と関連づけることができます。



www.bucheremhartglass.com

Bucher Emhart Glass
Hinterbergstrasse 22
CH-6312 Steinhausen
Tel. +41 41 749 42 00
Fax +41 41 749 42 71
webmaster@bucheremhartglass.com